

館内グループウェアサーバ機器  
及びソフト調達要件仕様書

令和8年5月 15 日

静岡県国民健康保険団体連合会

## 目次

<b>1.はじめに</b> .....	3
1.1.本書の位置づけ .....	3
1.2.基本的な考え方.....	3
<b>2.要件定義について</b> .....	4
2.1.信頼性要件 .....	4
2.1.1.サーバ内蔵ハードディスクの構成.....	4
2.1.2.サーバのネットワークインターフェース二重化 .....	4
2.1.3.バックアップについて.....	4
2.1.4.電源について.....	4
2.1.5.拡張性について .....	4
<b>3.システム構成について</b> .....	5
3.1.館内システムを構成する機器のイメージ .....	5
3.2.構成する機器および役割.....	6
3.2.1.館内システムの構成 .....	6
<b>4.ハードウェア構成について</b> .....	7
4.1.館内ハードウェア仕様.....	7
4.1.1.館内グループウェアサーバ .....	7
4.1.2.館内バックアップ装置 .....	8
4.1.3.館内バックアップ装置(外部保管用).....	8
4.1.4.館内無停電電源装置 .....	9
<b>5.ソフトウェアについて</b> .....	10
5.1.ソフトウェア仕様.....	10
5.1.1.館内グループウェアサーバ用ソフトウェア.....	10
<b>6.ファシリティ要件</b> .....	12
6.1.サーバラック .....	12
6.1.1.電力.....	12
6.1.2.耐荷重.....	12
6.1.3.通信ケーブル .....	12
6.2.その他.....	12
6.2.1.セキュリティ.....	12
<b>7.保守要件</b> .....	13
7.1.ハードウェア .....	13
7.2.ソフトウェア .....	13
7.3.留意事項.....	13
<b>8.設置要件</b> .....	14
8.1.ハードウェアの納品および設置等.....	14
8.1.1.サーバ設置 .....	14

8.1.2.設置場所等の確認.....	14
8.2.その他.....	14
<b>9.導入要件</b> .....	<b>15</b>
9.1.導入計画.....	15
9.2.導入作業.....	15
9.2.1.導入.....	15
9.2.2.設定.....	15
9.3.試験.....	15
9.4.成果物.....	16
9.5.その他.....	16
<b>10.その他要件</b> .....	<b>17</b>
10.1.導入時作業体制.....	17
10.2.作業上の注意事項.....	17
10.3.情報の目的外使用の禁止および守秘義務.....	17

# 1.はじめに

## 1.1.本書の位置づけ

- ◆ 本書では、業務系ネットワークにおける館内グループウェアシステムの更改に係る機器・ソフトウェア等の調達要件仕様について定める。
- ◆ 本書に記載されている機器等は基本的にはスペック情報であり、メーカー・型番等を指定するものではない。但し、止むを得ず調達品を特定するものは品名と型番等を指定することとする。

## 1.2.基本的な考え方

- ◆ 館内グループウェアシステムの機器とソフトウェアを更改する。
- ◆ 現行のグループウェア「StarOffice X Standard V5.2」からのデータ移行は不要とする。
- ◆ 本システム導入にあたり、事前に計画書等を提示すること。
- ◆ システム利用ユーザ数は館内 250 とする。
- ◆ データ量の増加に応じた機器(ハードディスク・メモリ等)増設を可能とし、拡張性を高める。
- ◆ 5年以上の期間に亘り業務に支障なく稼働出来るスペックの機器・ソフトウェアを調達する。
- ◆ 館内グループウェアサーバは既存ラック(NEC 製 N8140-92 36U)に設置する。
- ◆ 館内グループウェアサーバは業務系のネットワークに接続すること。
- ◆ 業務系ネットワークの館内グループウェアサーバとして問題なく稼働させること。

## 2.要件定義について

### 2.1.信頼性要件

#### 2.1.1.サーバ内蔵ハードディスクの構成

サーバ内蔵のハードディスク信頼性確保のために、RAID（Redundant Arrays of Inexpensive Disks）を構成すること。

RAID レベルは 5、もしくは 6 を採用すること。

RAID レベルが 5 の場合は、ホットスペアの HDD を 1 本確保すること。

#### 2.1.2. サーバのネットワークインターフェース二重化

業務系ネットワークに接続させるサーバのネットワークインターフェースは、物理的に二重化し障害時にはフェイルオーバーする構成（AFT）とすること。

#### 2.1.3.バックアップについて

夜間バックアップとして館内グループウェアサーバでは NAS 及び外付けポータブル SSD または HDD へ毎日フルバックアップを実施すること。

※バックアップ方法の詳細は情報管理課と協議の上決定すること。

#### 2.1.4.電源について

全ての機器電源装置は、冗長化すること。

停電が発生した際、機器の電源が遮断されない様に電力を供給し安全に停止させるため、サーバを無停電電源装置（UPS）に接続すること。

#### 2.1.5.拡張性について

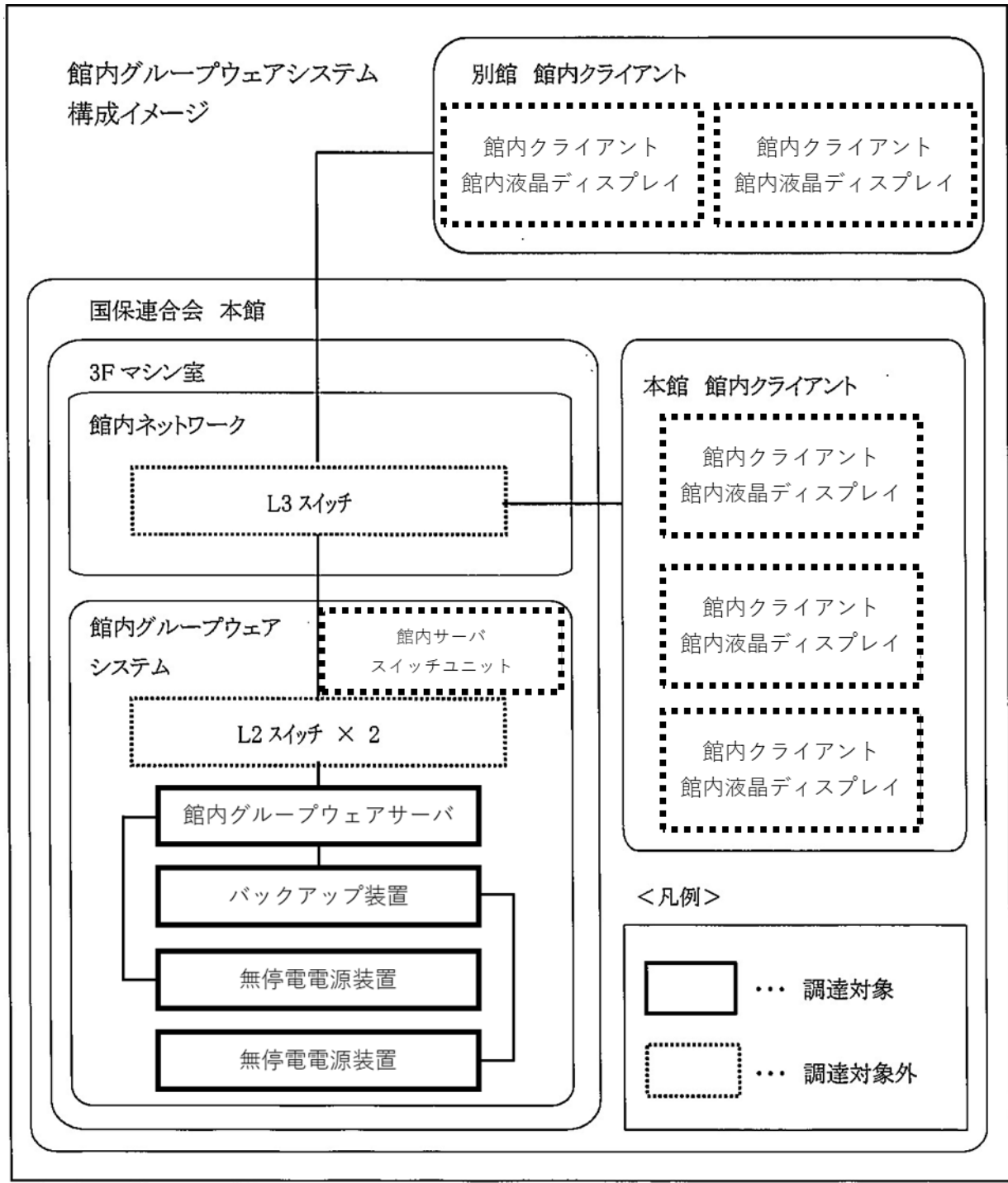
データ量やシステムの変更、他システムとの連携機能の追加等に応じて機器の拡張性（ハードディスク・メモリ等の増設）が行える柔軟な構成とすること。

### 3.システム構成について

#### 3.1.館内システムを構成する機器のイメージ

館内グループウェアシステムの構成イメージを表 3.1-1 に示す。(NW 冗長化は省略)

表 3.1-1 館内グループウェアシステムの構成イメージ



## 3.2.構成する機器および役割

### 3.2.1.館内システムの構成

館内グループウェアサーバのハードウェア構成を表 3.2.1-1 に示す。

表 3.2.1-1 館内グループウェアサーバの定義

機器名称	用途
館内グループウェアサーバ	ラックマウント用×1 台 本会業務系ネットワークのグループウェアシステムサーバとして 24 時間 365 日稼働させる 250 ユーザが利用する
館内バックアップ装置	ラックマウント用×1 台 NAS (1U) ×1
館内無停電電源装置	ラックマウント用×2 台 電源供給の継続および安全停止を実現すること
LAN ケーブル	サーバ接続用 カテゴリー6 10m×2 本

注) 調達機器は国内ブランドメーカー製品に限る。

## 4.ハードウェア構成について

### 4.1.館内ハードウェア仕様

館内サーバ機器等のハードウェア仕様を以下に示す。

#### 4.1.1. 館内グループウェアサーバ

館内グループウェアサーバの仕様を表 4.1.1-1 に示す。

表 4.1.1-1 館内グループウェアサーバ

区分	仕様
タイプ	ラックマウント型 1U
CPU	インテル®Xeon®プロセッサ16C/3.60GHz/6724P 以上×1
メインメモリ	64GB (32GB×2) 以上
RAID コントローラ	RAID5 もしくは 6 (構成するレベルに対応) 以上
内蔵ディスク	600GB (SAS) ×8 以上 内蔵ディスクは 2.5 型であること ハードウェア RAID 機能による RAID5/6 構成であること (RAID コントローラ用フラッシュバックアップユニットを内蔵すること) ホットプラグに対応していること 1 本以上のホットスペアを確保すること
光学ドライブ装置	DVD-ROM 装置を内蔵すること
インターフェース	1000Base-T 対応のインターフェースであること 物理 NIC2 枚 (4 ポート) 以上有すること AFT が実現可能なこと USB (Type-A) ×3 以上、アナログ RGB×1
OS 等	Microsoft Windows Server 2025 Standard
アプリケーション	グループウェア、電源管理ソフトウェア、バックアップソフトウェア、ウイルス対策ソフトウェア、セキュリティ対策ソフトウェア
その他	既存のサーバスイッチユニット (型番 : N8143-69) に適合するケーブルを用意すること 電源、ファンは冗長構成とすること LAN ケーブルを調達し、館内ネットワークに接続すること ハードウェア認証規定として、VCCI クラス A 以上であること 再セットアップ媒体をサーバ本体に組み込み可能な場合は組み込むこと

注)機能に関する詳細仕様を実現するために、不足するものはこれを追加し、全てが正常に稼働するようにハードウェア、ソフトウェアおよび接続ケーブル等を揃えること。

#### 4.1.2.館内バックアップ装置

館内バックアップ装置の仕様を表 4.1.2-1 に示す。

表 4.1.2-1 館内バックアップ装置

区分	仕様
タイプ	ラックマウント用 2U 以内
装置本体	NAS ×1 搭載 OS : Windows または Linux CPU : Intel Atom X6211E 以上 メモリ : 8GB 以上 容量 : 4TB 以上 RAID レベルは 5、もしくは 6 を採用すること。
その他	19 インチラックマウント用の接続金具を添付すること ネットワークポート 1000BASE-T×2 以上 ネットワーク接続用の CAT6LAN ケーブル (2m) を 1 本添付すること 保証として、平日 9:00~17:00 当日オンサイト保守を 5 年間含めること

注)機能に関する詳細仕様を実現するために、不足するものはこれを追加し、全てが正常に稼働するようにハードウェア、ソフトウェアおよび接続ケーブル等を揃えること。

#### 4.1.3.館内バックアップ装置(外部保管用)

館内バックアップ装置(外部保管用)の仕様を表 4.1.3-1 に示す。

表 4.1.3-1 館内バックアップ装置(外部保管用)

区分	仕様
タイプ	外付けポータブル SSD 又は HDD
装置本体	外付けポータブル SSD 又は HDD × 3 ※HDD の寸法 (目安) : W80mm、D120mm、H22mm 2TB 以上 インターフェース : USB3.0 以上 データ暗号化機能、データ完全消去機能が備わっていること ハードウェア認証規定として、VCCI クラス B 以上であること

注)機能に関する詳細仕様を実現するために、不足するものはこれを追加し、全てが正常に稼働するように

ハードウェア、ソフトウェアおよび接続ケーブル等を揃えること。

#### 4.1.4. 館内無停電電源装置

館内無停電電源装置の仕様を表 4.1.4-1 に示す。

表 4.1.4-1 館内無停電電源装置

区分	仕様
タイプ	ラックマウント用 1台につき2Uまで(2台で4Uまで)
本体装置	定格容量 $\geq$ 導入機器が必要とする容量
その他	電源管理ソフトを利用し管理すること

注) 機能に関する詳細仕様を実現するために、不足するものはこれを追加し、全てが正常に稼働するようにハードウェア、ソフトウェアおよび接続ケーブル等を揃えること。

## 5.ソフトウェアについて

### 5.1.ソフトウェア仕様

サーバ機器等のソフトウェア仕様を以下に示す。なお、ソフトウェア製品を格納したインストールメディア等は、製品毎に用意すること。

#### 5.1.1. 館内グループウェアサーバ用ソフトウェア

館内グループウェアサーバ用ソフトウェアの仕様を表 5.1.1-1 に示す。

表 5.1.1-1 館内グループウェアサーバ用ソフトウェア

項	分類	ソフトウェア名・仕様	調達 要・否	ライ セ ンス 数	インスト ールメデ ィア必要 数
1	サーバ OS	Windows Server 2025 Standard	要	1	—
2	クライアントアクセス	Windows Server 2025 クライアントアクセスライセンス (デバイス CAL)	否 ※1	—	—
3	グループウェア	サイボウズ Garoon 6 Garoon6 新規基本ライセンス アカデミック・ガバメント版 Cランク	要	250	—
4	Webサーバ	InternetInformationServices	否	—	—
5	Webブラウザ	Edge	否	—	—
6	帳票表示	Adobe Acrobat Reader DC	否	—	—
7	圧縮・解凍	圧縮・解凍ソフトウェア 7-Zip	否	—	1 ※2
8	電源管理	UPS 管理ソフトウェア 電源管理機能として、電源障害時に自動シャットダウンが実現可能なソフトウェア 本システムで採用される無停電電源装置と親和性の高いソフトウェアを調達すること	要	—	—
9	バックアップ	バックアップソフトウェア Arcserve UDP 10.x Advanced Edition - Server ※サーバ OS に対応する最新バージョンで	要	1	1

		調達すること			
10	ウイルス対策	ウイルス対策ソフトウェア ApexOne	否 ※1	—	— ※3
11	セキュリティ管理	セキュリティ管理ソフトウェア LanScope Cat MR	否 ※1	—	—

※1 ライセンス保有済み。

※2 ダウンロードしてメディアを作成すること。

※3 ウイルス対策ソフトは、セキュリティ等管理システムから提供されるインストーラにてインストールすること。

## 6.ファシリティ要件

### 6.1.サーバラック

サーバラックに関して、既存ラック(NEC 製 N8140-92 36U)を使用することとする。

今回調達する全てのサーバ機器等が既設サーバラック内に設置出来ることを確認すること。

米国電子工業会 (EIA) に準拠したものを使用 (1U (ユニット) = 44.45mm) 導入機器、耐荷重、設置面積などを考慮し導入を行うこと。

サーバラックの設置条件を以下に示す。

#### 6.1.1.電力

搭載する機器によっては、200V を必要とするものがあり、設置時に電源工事を伴う場合は事前に100V/200V の必要電源本数を報告すること。

また、無停電電源装置を調達する際、200V への対応有無およびコンセントの形状を確認すること。

搭載する機器毎に消費電力 (VA/W) を求め、必要な電源容量を求めること。

搭載する機器は、無停電電源装置に接続して使用すること。

漏電対策として、アース付きコンセントを使用すること。

機器が冗長化されている場合、電源供給の冗長化を考慮し、各サーバは無停電電源装置を分けることとする。

#### 6.1.2.耐荷重

サーバラックの設置に関しては、床の耐重量を考慮し搭載可能な最大搭載重量内であること。

床はフリーアクセス床で、耐重量は 600kg/m<sup>2</sup>程度である。

#### 6.1.3.通信ケーブル

機器間を接続するケーブルはカテゴリ6 以上の LAN ケーブルを使用すること。

### 6.2.その他

#### 6.2.1.セキュリティ

情報漏洩を考慮しセキュリティを高めるチップが実装されていること。

## 7.保守要件

### 7.1.ハードウェア

すべての調達機器において導入当初から5年間のオンサイト保守料を含めることとする。  
平日 9:00 ~ 17:00 の時間帯をカバー出来る保守サービスとする。

※ UPS、RAID コントローラ等のバッテリー交換については5年間の保守を適用すること。

### 7.2.ソフトウェア

すべての調達ソフトウェアにおいて導入当初から5年間の保守料を含めることとする。

サイボウズ Garoon 6 については新規ライセンスによる初年度保守に加え、下記保守を含めること。

・Garoon6 継続サービスライセンス アカデミック・ガバメント版 250 ライセンス(4年パック)

平日 9:00~17:00 の時間帯をカバー出来る保守サービスとする。

※ Microsoft 社製品、電源管理ソフトウェアの保守は適用外とする。

### 7.3.留意事項

納入したハードウェア・ソフトウェア等において、重大な問題や障害、切り分けが困難な事象が発生した場合、部品交換にとどまらず、必要な技術者を派遣し、速やかに原因調査および対策案を検討し報告すること。  
必要に応じて現地作業を実施して、部品交換やファームアップ、適用手順書含むパッチ提供等の措置により障害対応および品質向上を図ること。

初期不良対応としてメーカーが定める期間内に動作確認を実施し、正常に稼働するか確認をとること。

全ての保守登録作業を実施すること。

## 8.設置要件

### 8.1.ハードウェアの納品および設置等

#### 8.1.1.サーバ設置

館内グループウェアサーバについては、情報管理課の指定する場所に設置すること。

※設置する内容等については変わる可能性がある為、情報管理課と調整して作業を実施すること。

#### 8.1.2.設置場所等の確認

事前にサーバ等の設置場所を確認したい場合は、本会と日程調整の上、下記の期間内に行うこと。

期間:令和8年5月 18 日(月)から令和8年5月 25 日(月)

※土日を除いた平日 10 : 00～16 : 00 とする。

### 8.2.その他

ホスト名等を記載したラベルを、本体、電源ケーブル、LAN ケーブル等に貼ること。

本会へサーバ等を搬入した時の梱包材等は全て撤去および処分すること。

## 9.導入要件

### 9.1.導入計画

館内グループウェアサーバを更改するための導入実施計画書等を提出すること。

事前に作業内容、導入時作業体制、作業スケジュール、試験内容等を提示し、情報管理課と協議の上詳細を決定すること。

### 9.2.導入作業

#### 9.2.1.導入

館内グループウェアサーバへ必要となる全てのミドルウェア(OS・アプリケーション等)をインストールすること。

※導入する内容等については変わる可能性がある為、情報管理課と調整して作業を実施すること。

#### 9.2.2.設定

現行の館内グループウェアサーバから、調達した新たな館内グループウェアサーバへのデータ移行は不要とする。

館内グループウェアサーバにサイボウズ Garoon 6 をインストールし、問題無く動作する様に設定すること。

また、端末からの動作確認は、別途調達する「館内グループウェアシステム用端末調達」の落札業者と連携し実施すること。

OS、ソフトウェア等のバージョンが変わることによる設定作業が必要な場合は実施すること。

館内グループウェアサーバは電源管理ソフトウェアを使用し、電源障害時等の設定をすること。

館内グループウェアサーバはバックアップソフトウェアを使用し、バックアップ環境を設定すること。

館内グループウェアサーバはウイルス対策ソフトウェアを使用し、ウイルススキャン等の環境を設定すること。

館内グループウェアサーバはセキュリティ対策ソフトウェアを使用し、セキュリティ環境を設定すること。

※設定する内容等については変わる可能性がある為、情報管理課と調整して作業を実施すること。

### 9.3.試験

設定を実施した各ソフトウェア等の動作試験を実施すること。

- ・サイボウズ Garoon 6 (グループウェア)機能

- ・電源管理ソフトウェア
- ・バックアップソフトウェア
- ・ウイルス対策ソフトウェア
- ・セキュリティ対策ソフトウェア

※試験の実施にあたり事前に試験計画書を情報管理課に提示し、協議の上動作試験を実施すること。

## 9.4.成果物

館内・グループウェアサーバの導入に伴う作業において、作成した成果物を紙媒体と電子媒体で 1 部ずつ納品すること。

館内グループウェアサーバで想定している成果物は以下の通り。

- ・導入計画書
- ・構築設計書
- ・システム導入手順書
- ・試験計画書、試験結果報告書
- ・障害時バックアップ媒体からの復旧手順書
- ・グループウェア構築設計書
- ・グループウェア管理運用マニュアル等

※上記に示す成果物は変更される可能性があり、情報管理課と協議の上、決定すること。

## 9.5.その他

館内グループウェアサーバ導入完了期日

令和8年10月30日(金)までに全ての作業を完了させること。

※上記に示す導入完了期日は変更される可能性があり、情報管理課と協議の上、決定すること。

## 10.その他要件

### 10.1.導入時作業体制

導入時作業体制を表 10.1-1 に示す。

表 10.1-1 導入時作業体制

作業分類	最低確保人数
営業窓口（管理者）	1名
営業窓口（担当者）	1名
導入作業 SE（管理者）	1名
導入作業 SE（担当者）	2名

- ・ 作業分類に示す作業者が他の作業分類を兼任しないこと。
- ・ 特別な理由が無い限り上記人員体制で作業すること。
- ・ 特別な理由がある場合は、情報管理課と協議の上決定する。

### 10.2.作業上の注意事項

サーバ等の設置および設定作業の実施にあたっては、作業の目的を達成すること以外の操作をしてはならない。

また、下記の点を特に留意するものとする。

#### 【留意点】

- ・ 本会へサーバ等を搬入した時の梱包材等は全て撤去および処分すること。
- ・ 作業の際に本会のネットワークにログインする場合は、作業の目的物以外のサーバ等にアクセスしてはならない。
- ・ 作業の際にサーバ等にログインする場合は、サーバ内に保持された本会の情報の内、作業の目的以外の情報にアクセスしてはならない。
- ・ 作業の際に作業の目的以外のデータを持ち出しおよびデータの複製をしてはならない。
- ・ その他、すべての作業について、情報セキュリティの観点を特に配慮し、安全に実施されなければならない。
- ・ 作業について疑義が生じた場合は必ず本会へ事前に連絡すること。

### 10.3.情報の目的外使用の禁止および守秘義務

導入作業の遂行にあたり知り得た情報を利用目的の達成に必要な範囲以外に使用してはならない。

また、導入作業の遂行にあたり知り得た秘密および個人情報を必要な従事者以外に漏らしてはならない。本件が完了した後も、また同様とする。

但し、法的手続き等開示が求められた情報に該当するものは、この限りでない。